

平成24年度 マグカル事業の取組み

マグカル・テーブルの開催(第1回)

H24.4.23



ソフトの豊富さを活かして、Web上にイベント情報等を提供する『バーチャル・エンタメ・ストリート』を新たに作り、世界に発信していくという取組みが効果的



★中区から西区にかけての文化資源を視察

マグカル・テーブルの開催(第2回)

H24.8.15

事業のネーミングを「マグカル(マグネット・カルチャー)」と決定

★「チックタックの秘密のとびら」観劇



マグカル・テーブルの開催(第3回)



H24.12.26

〔バーチャル・マグカル①〕

- ・神奈川県は外国人の比率が高いため、英語や中国語の表記が必要。
- ・県内の他の地域への広がりをどのように考えているのか。
- ・「いいね！」の目標数などを設定するとよい。面白いコンテンツを常に入れ替えていかないと増えない時代。

マグカル・テーブルの開催(第3回)



H24.12.26

〔バーチャル・マグカル②〕

- ・どのようにFacebookを盛り上げていくか議論していく必要がある。神奈川県の情報なら全部入っていると言いきれるものにしていくとよい。
- ・Facebookをリアルタイムに答えるために、青年会議所や地元のイベント会社に協力してもらおう。染み出し効果を作ることが大切。
- ・マグカルとして発信する基準を持つべきである。

マグカル・テーブルの開催(第3回)



H24.12.26

〔マグカル劇場〕

- ・あまり「若者」にこだわらなくてもいいのではないか
- ・目的はスターをつくることでなくてもいいと思う。大舞台でやれるという夢はいいと思う。
- ・次のステップにテレビがついてくると、より夢が広がる。
- ・マグカル劇場は、場所を提供し、例えば定点カメラでライブ配信し、それを見て「いいね！」を押し、広まっていく。そこまでだと思う。

マグルカル・フェスティバルの開催

年間を通じ最も人出が減少する冬場に賑わいを創出することを目的として、イベントを開催

- ① マグルカル・オープニングトーク
- ② 神奈川芸術劇場及びその周辺を利用したアートサーカスの実施

①マグカル・オープニングトーク

マグカル・フェスティバルの幕開けを飾り、黒岩知事、横浜市出身の俳優である谷原章介氏、須藤理彩氏によるトークショーを開催

日時 平成25年2月2日(土)

会場 神奈川芸術劇場

参加者 800名(応募数1200名)



②アートサーカスの実施



H25.2.7-10 <5回公演> KAAT
7fingers「LOFT」
鑑賞者数 3,194人

公演に先立ち、クイーンズサークル
や赤レンガ倉庫前広場等の公共的
なスペースでパフォーマンスを実施。
鑑賞者数 約2,400人



マグカルの運営体制

バーチャル・マグカル 運営委員会

横浜市
(公財)横浜市芸術文化振興財団
(公財)神奈川芸術文化財団
神奈川県

マグカル・フェスティバル 実行委員会

神奈川県演劇連盟
横浜市
(公財)横浜市芸術文化振興財団
(公財)神奈川芸術文化財団
神奈川県立青少年センター
神奈川県

事務局

- ・事務局長
- ・事務局員専従 3名
(MAGCUL.NETを運営)

フェスティバル
部会

劇場部会